

JR守山駅西口ロータリーの渋滞緩和に向けた今後の取り組み

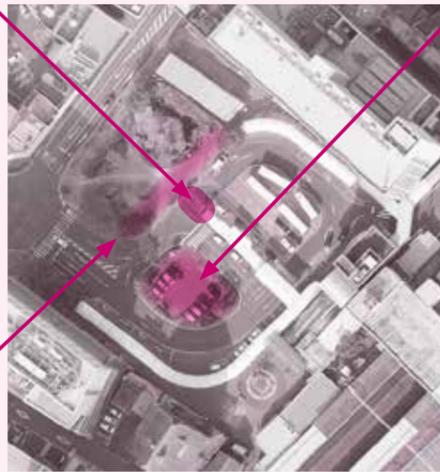
渋滞緩和に向けては、一定の効果が見込める横断歩道の撤去を含めて、4つの方策について具体的な検討を行い、できるだけ早期に着手できるよう進めていきます。

方策①

内容
中央横断歩道(緑地公園側)を撤去

目的・見込まれる効果

- 歩行者の安全性向上
- 歩行者と車両の動線分離による車両のスムーズな進行の促進



方策③

内容

- 市営駐車場のレイアウトを変更
- 駐車場出口を新たに整備し場内を一方通行化

目的・見込まれる効果

- 停車可能台数の拡充
- 駐車場入口付近の混雑緩和



方策②

内容
緑地公園の一部を活用し乗降場を整備

目的・見込まれる効果

- ロータリー内における停車可能台数の拡充
- 通行レーンの確保による後続車両のスムーズな進行の促進



※今後の状況により、内容に変更が生じる場合があります。
※詳細な工事概要や実施時期などが決まりましたら、改めて広報もりやまなどでお知らせします

方策④

内容

- 乗降場案内看板と路面上誘導矢印を整備
- 乗降場に区画線を整備

目的・見込まれる効果

- 適切な位置への停車を誘導
- 乗降場の最大活用

第4回 総合計画審議会 傍聴者募集

10年先の守山の将来像や方向性を描く、次期総合計画「守山市長期ビジョン2035」の策定に係る審議を行います。

時 5月13日(火)午後5時30分～7時30分

所 市役所 3階 33・34会議室

定 5人

申 5月7日(水)までに右記申込フォーム、メールまたは電話で下記へ。

※メールの場合は、氏名、住所、電話番号を記入



申込フォーム

他 開会10分前までに直接、会場へお越しください。

・案件の内容により、全部または一部が非公開となる場合があります。

企画政策課

☎(582)1162 ☎(582)0539

✉kikakuseisaku@city.moriyama.lg.jp

住みやすさ指標 アンケートの結果

このアンケートは、市民の皆さまの幸せに対する実感や日常生活への思いに関する意識を調査するために実施し、本市の住みやすさ実感を「もりやま“大好き”指標」と定義して10段階で評価しています。詳しいアンケート結果は、市HPで閲覧いただけます。



ホームページ

アンケート結果

実施期間 令和6年9月1日～30日

調査対象 市内在住の18歳以上のうち、無作為に抽出した2,000人(回答率18.0%)

もりやま“大好き”指標 **7.1**♡
(令和3年度:7.0♡)

※「もりやま“大好き”指標」とは、①健康・医療、②教育・学習・子育て、③環境、④安全・安心に関する「住み心地」と、⑤福祉、⑥暮らしと働き、⑦文化・スポーツ、⑧つながりに関する「幸せ感」の8つの評価分野から算出したものです。

※同指標のイメージを表現するため、評価単位を♡(ハート)で表しています。

市民協働課 協働推進係(市民交流センター内)

☎(582)1149 ☎(583)4654

JR守山駅西口ロータリーの渋滞対策 社会実験結果をふまえた今後について

国都市計画・交通政策課 ☎(582)1132 ☎(582)6947

JR守山駅西口ロータリーの渋滞対策を目的として昨年11月18日から約1ヵ月間、中央横断歩道(緑地公園側)(以下、「横断歩道」という)を一時的に撤去し、渋滞対策としての効果や安全性などを検証する社会実験を実施しました。

その調査結果をお知らせするとともに、渋滞緩和に向けた今後の方策についてお知らせします。詳しくは、市HPをご覧ください。



ホームページ

社会実験の概要

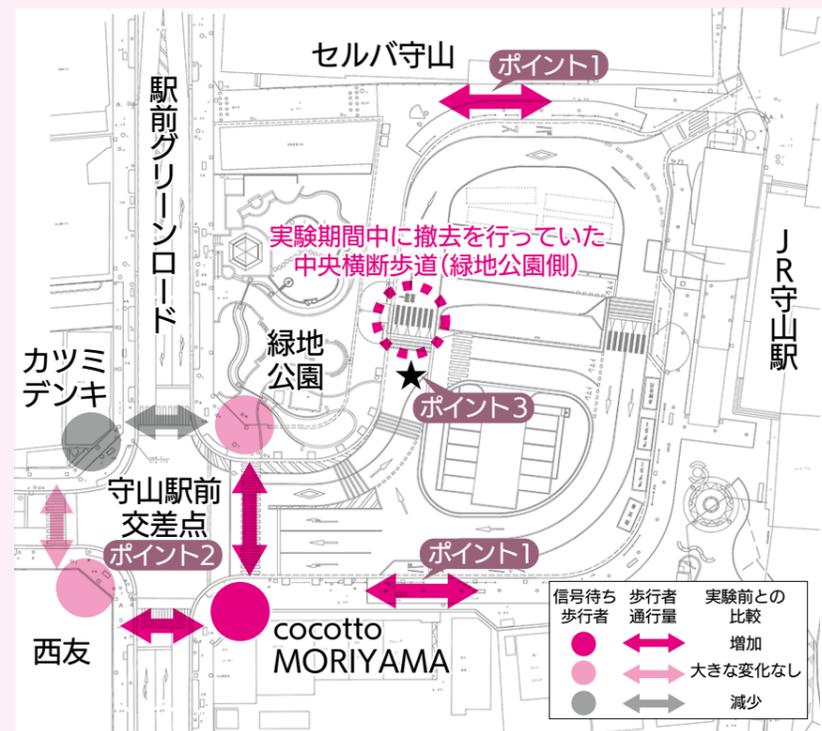
実施目的

横断歩道の一時的な撤去を行い、渋滞対策としての効果や安全性を検証

実施期間

令和6年11月18日～12月16日

調査場所・調査結果



今後の方向性

- 従来の横断歩道利用者にとっては経路の変更が必要となったものの、迂回先での安全性に問題がなく(ポイント1・2)、一定の渋滞緩和効果が確認できた(ポイント3)ことから、横断歩道を恒常的に撤去する方向で進めていきます。
- 横断歩道付近の安全性確保については、横断防止柵の設置などを検討します。

ポイント1

歩行者通行量①

迂回により、セルバ守山前、cocotto MORIYAMA前の歩行者通行量が増加

歩行者同士は安全にすれ違いができていた。

ポイント2

歩行者通行量② 信号待ち歩行者数

- カツミデンキー緑地公園間の歩行者通行量が減少
- カツミデンキ前の信号待ち歩行者も減少
- 西友ーcocotto MORIYAMA間の歩行者通行量が増加
- cocotto MORIYAMA前の信号待ち歩行者も増加

歩行者同士は安全にすれ違いができていた。

- 信号待ち歩行者は1度の青信号で渡り切れていた。
- 各左折車両は、1度の青信号で左折ができていた。

ポイント3

横断歩道付近の車両通行状況

バスやタクシーなどが、横断歩道歩行者を待つ回数・時間が減少

- バスなどが横断歩道付近をスムーズに通行できていた。
- 後続車が詰まりにくくなり、駅前交差点にまで及んでいた渋滞の緩和が見られた。



バスが歩行者列を待つ様子(実験前)